

研究機関：広島大学

研究課題名	本邦における非アルコール性脂肪性肝疾患の実態と予後の解明
研究責任者名	広島大学大学院 医系科学研究科 消化器・代謝内科学 教授 茶山 一彰
研究期間	2020年5月13日(倫理委員会承認後)～2026年3月31日
対象者	平成15年4月1日～平成25年2月26日の間に、広島大学病院 消化器・代謝内科で脂肪肝にたいする検査を受けられた患者のうち、診断のために既に採取されたものの一部(残余検体)を研究に使用することについて同意を得て血清残余検体を保管している患者、および平成25年2月27日～平成26年8月31日の間に疫-726「肝疾患の研究のためのデータベース登録」に同意し血清検体を保管している患者
意義・目的	非アルコール性脂肪性肝炎の予後を反映するマーカーは明らかになっていません。 今回、以前 Mac-2bp を測定した患者さんを対象として転帰を調査することにより、肝線維化マーカーの一つである Mac-2bp は予後を反映するマーカーとしての可能性を調査することを目的にこの研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。受診が途絶えている場合には電話にて同意を得たうえで、確認させていただきます。 研究に用いるデータは(生存 or 死亡、死因、肝癌発生日、肝硬変診断日、静脈瘤発生日、心血管病発症日、他臓器癌発生日、他臓器癌名)です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ)
共同研究機関	高知大学、大阪市立大学、大阪市立十三市民病院、京都府立医科大学、市立奈良病院、東京女子医科大学、名寄市立総合病院、旭川医科大学、札幌厚生病院、国立国際医療研究センター、横浜市立大学、川崎医科大学、久留米大学、佐賀大学 大阪大学に情報を集め大阪大学(研究責任者 竹原徹郎)が解析します。
試料・情報の管理責任者	大阪大学：消化器内科 教授 竹原徹郎
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5190 広島大学病院 消化器・代謝内科/広島臨床研究開発支援センター 診療准教授 中原隆志